

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	3	担当部課名	教育部 中央公民館
			担当課長名	上保 吉雄

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	文化教養講座事業(公民館講座充実事業)
財務会計上の事業名	文化教養講座事業
事業の対象(誰(何)を)	市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	講座の充実、広報誌による効果的なPR
事業の目的(どのような結果を得るか)	成人・高齢者・家庭教育学級・親と子どもの創作教室などをはじめとする文化教養講座を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和33年度～ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度～平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		815		350		240		271	
内訳	人件費(人・千円)	1.30人	7,100	1.30人	6,980	1.30人	6,980	1.30人	7,000	100.0%
	正職員	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	0.60人	4,800	100.0%
	再任用職員	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	400	100.0%
	支出合計 A	7,915		7,330		7,220		7,271		98.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	7,915		7,330		7,220		7,271		98.5%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標(1)	講座受講者数	人	829	697	633	724
成果指標(2)								
活動指標(1)		講座開催回数	回	513	485	481	470	520
活動指標(2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	15,429	15,113	15,010	15,470	99.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	講師の若返り等検討を図りたい
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	講座内容の精査(毎年同じ人が受講している)ならびに講師の高齢化に伴いあらたな講師の招聘する時期と思えるが、講師の費用から見て、なかなか招聘がむずかしい。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 6570
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	4	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	PTA活動推進事業
財務会計上の事業名	PTA活動推進事業
事業の対象(誰(何)を)	市内19学校園のPTA会員
事業の手段(どうする(させる)ことで)	会長会等の開催、各種交流事業、研修会の実施。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内19学校園の連携を深め、子どもたちの健全育成並びに会員のPTA活動の活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第10条 ~ 14条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		431		346		215		
内訳	人件費(人・千円)	0.04人	361	0.43人	3,526	0.06人	504	0.11人	491	14.3%
	正職員	0.04人	361	0.43人	3,526	0.06人	504	0.04人	349	14.3%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.07人	142	-
支出合計 A			792		3,872		719		680	18.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		792		3,872		719		680	18.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	研修会、スポーツ交流会等の参加者数	人	1,719	1,800	3,312		1,900
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	研修会、スポーツ交流会の開催件数	件	8	9	9		9
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	99,000	430,222	79,889		18.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	研修形式の父親向け研修会を、各中学校区別(5校区)に「おやじの会」を実施することにより、参加者が倍増した。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年、池田市PTA協議会の行事として父親向けの勉強会を年1回開催していたが、今年度は各中学校区別(5校区)で企画された「おやじの会」が開催され、参加人数の倍増などPTAの活性化が図られた。	各種研修会の動員について、内容の精査及び回数削減の要望あり
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
PTA活動のあり方、市PTAの方向性等が懸念されている。	・単位PTA間の交流促進 ・各種研修会の動員回数の削減を検討し、役員負担の軽減を図る必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	4	担当部課名	教育部 中央公民館
			担当課長名	上保 吉雄

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	美術展開催事業(市美術展事業)
財務会計上の事業名	美術展開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び近隣市町の美術芸術の愛好家
事業の手段(どうする(させる)ことで)	より効果的なPR活動についての検討
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田市美術展を中央公民館・市立キャリヤー・ギャレリVAGAの3会場において実施することにより、市民の創作活動に対する意欲の向上と発表の機会を設けると共に作品鑑賞を通じて市民の文化意識の高揚をはかる
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 32 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 19 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
	根拠となる法令の条項までを記入

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	1,741	1,851	1,560	3,995	84.3%			
内訳	人件費(人・千円)	1.35人	7,195	1.35人	7,075	1.35人	7,075	1.35人	7,100	100.0%
	正職員	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	0.60人	4,800	100.0%
	再任用職員	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0.25人	475	0.25人	475	0.25人	475	0.25人	500	100.0%
	支出合計 A	8,936	8,926	8,635	11,095	96.7%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	8,936	8,926	8,635	11,095	96.7%				

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	出品者数	人	338	346	337	340	350
	成果指標 (2)	入場者数	人	6,209	6,057	5,852	6,100	6,300
	活動指標 (1)	開催案内はがき作成	部	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	活動指標 (2)	開催案内ポスター作成	部	200	200	200	200	200

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,787	1,785	1,727	2,219	96.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	池田市・池田市教育委員会・池田市美術協会 による3者共催事業である
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
通年の内容で、実施。	市長賞受賞者に賞金3万円が贈呈され参加者たちもいつもより力がいっていた様に思われた。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	実施運営については、運営委員会を立ち上げ第53回美術展から実施をする。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 6580
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	5	担当部課名 教育部 生涯学習推進課	担当課長名 谷口 博昭

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	女性団体活動促進事業
財務会計上の事業名	女性団体活動促進事業
事業の対象(誰(何)を)	市内婦人団体会員
事業の手段[どうする(させる)ことで]	勉強会の開催、清掃活動の実施、市主催事業への参画。
事業の目的[どのような結果を得るか]	女性の資質や能力の向上が図られ、地域活動の中核としての役割が果たされることにより地域の活性化が促進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第10条 ~ 14条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	65	60	30	30	50.0%			
内訳	人件費(人・千円)	0.02人	168	0.02人	164	0.06人	504	0.11人	491	307.3%
	正職員	0.02人	168	0.02人	164	0.06人	504	0.04人	349	307.3%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.07人	142	-
支出合計 A		233	224	534	521	238.4%				
財源	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	233	224	534	521	238.4%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	勉強会・清掃活動への参加人数	人	3,380	3,267	3,055		3,400
	成果指標 (2)	市主催事業への参画	人	400	400	400		400
	活動指標 (1)	勉強会・清掃活動の回数	回	118	118	118		118
	活動指標 (2)	市主催事業への参画件数	件	20	20	20		20

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,975	1,898	4,525		238.4%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	会員の固定による高齢化、会員数並びに活動参加者は減少(平成21年度比 6.5%減)しているが、市の公的事業や地域社会への貢献度から判断して、継続が必要な事業である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
変更なし。	勉強会の内容については、回数や時間は概ね現状で満足されているが、テーマと講師のさらなる充実を望まれている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
社会の変化に伴い、多様化した女性の学習要求に応じた市町村主催の学習会が増加傾向にある。	会員の固定による高齢化と会員数の減少を改善するための方策を検討中。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	5	担当部課名	教育部 中央公民館
			担当課長名	上保 吉雄

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業
財務会計上の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び近隣市町の俳句、短歌愛好家
事業の手段[どうする(させる)ことで]	広報誌等による効果的なPR
事業の目的[どのような結果を得るか]	俳句・短歌を通じて愛好者相互の交流を図るとともに、作品のより一層のレベルアップを図る。又、俳句ではジュニアの部を設定し青少年の情操向上を図ることを目的とする。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		38		42		30		31	
内訳	人件費(人・千円)	0.25人	1,545	1.30人	7,100	1.30人	6,980	1.30人	7,000	98.3%
	正職員	0.15人	1,260	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	97.6%
	再任用職員	0.05人	180	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.05人	105	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	400	100.0%
	支出合計 A	1,583		7,142		7,010		7,031		98.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,583		7,142		7,010		7,031		98.2%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	参加者数(俳句大会)	人	940	1,326	1,852	1,753
成果指標 (2)		参加者数(短歌大会)	人	19	20	0	32	
活動指標 (1)		開催案内チラシ作成	部	1,200	1,200	1,200	1,200	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,319	5,952	5,842	5,859	98.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	ジュニア部を充実させ、青少年の情操向上に努める
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
市民俳句大会は特に無い。市民短歌大会については、前回中止になったが、今回は、市内の参加以外に他市(茨木市ほか)の参加もあり大いに盛り上がった。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	出句者の平均年齢が高いため、ジュニア部門のより一層の充実を図り、幅広い層の参加を募る(俳句・短歌)。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 6590
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	6	担当部課名 教育部 生涯学習推進課	担当課長名 谷口 博昭

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	市吹奏楽団育成事業
財務会計上の事業名	市吹奏楽団育成事業
事業の対象(誰(何)を)	市民ならびに近隣市町村の住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	年2回の定例的な演奏会開催のほか、消防出初式、さくらまつり等の市の公的行事で演奏を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民が主体となり活動している吹奏楽団を支援することにより、市民に吹奏楽を鑑賞する機会を提供するとともに、市の音楽文化の発展に寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input checked="" type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第10条 ~ 14条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		2,255		2,074		1,919		1,960	
内訳	人件費(人・千円)	0.04人	361	0.04人	353	0.06人	504	0.11人	430	142.8%
	正職員	0.04人	361	0.04人	353	0.06人	504	0.04人	288	142.8%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.07人	142	-
	支出合計 A		2,616		2,427		2,423		2,390	99.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		2,616		2,427		2,423		2,390	99.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	団員数	人	65	65	65	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		年2回の演奏会等の入場者数	人	1,100	1,000	1,200		1,400
活動指標 (2)		出初式、さくらまつり等市の行事参加回数	回	8	6	6		10

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	2,378	2,427	2,019		83.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	吹奏楽の発展に寄与するだけでなく、市の公的行事にも積極的に協力している。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特記事項なし	定期演奏会等の入場者増。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
市の音楽文化の振興施策として継続的に活動支援する自治体が多い。	さらに多くの市民に吹奏楽を鑑賞する機会を提供する方法を検討する必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input checked="" type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5024	1	1	担当部課名 教育部 中央公民館
				担当課長名 上保 吉雄

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	中央公民館管理事業
財務会計上の事業名	中央公民館管理事業
事業の対象(誰(何)を)	市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	維持管理経費の節減に努める。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民の幅広い要望に応じるために適正かつ有効な管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 33 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		7,902		7,266		7,024		7,899	
内訳	人件費(人・千円)	1.20人	6,910	1.20人	6,790	1.20人	6,790	1.20人	6,800	100.0%
	正職員	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	0.60人	4,800	100.0%
	再任用職員	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	190	0.10人	190	0.10人	190	0.10人	200	100.0%
	支出合計 A	14,812		14,056		13,814		14,699		98.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	228		228		228		228		100.0%
	一般財源 C	14,584		13,828		13,586		14,471		98.2%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	年間利用者数	人	99,961	100,409	98,213	100,000
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	利用件数	件	1,293	1,341	1,329	1,350	1,350
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	11,279	10,312	10,223	10,719	99.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	徐々に改善、改革を行っている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
夜間(5時15分以降)の公民館管理事業の見直し。シルバー人材センター活用を取り入れたことにより、昼間における事務取り扱いが充実した。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	幼児、若者、高齢者が共に交流が出来る公民館を望む。そのためには機能更新やバリアフリーの検討が必要である

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()			財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5024	1	2	担当部課名 教育部 中央公民館
				担当課長名 上保 吉雄

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	中央公民館運営事業
財務会計上の事業名	中央公民館運営事業
事業の対象(誰(何)を)	市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	施設の利用について広報誌等により効果的なPRを行う
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民の幅広い要望に応じるために適正かつ有効な管理を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 33 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第21条・公民館条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		583		549		483		669	
内訳	人件費(人・千円)	1.30人	7,100	1.30人	6,980	1.30人	6,980	1.30人	7,000	100.0%
	正職員	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	0.60人	4,800	100.0%
	再任用職員	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	400	100.0%
	支出合計 A	7,683		7,529		7,463		7,669		99.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	7,683		7,529		7,463		7,669		99.1%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	年間利用者数	人	99,961	100,409	98,213	105,000
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	利用件数	件	1,293	1,341	1,329	1,330	1,350
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	5,942	6,066	5,616	5,766	92.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 徐々に改善・改革を行っている
---	---	------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
建物に関して、老朽化に伴う苦情等多くなってきている。事業面では、市民企画事業を充実させることにより、今までになかった講座を開催することができる。	6年前より俳句大会にジュニアの部を設定したことにより、異世代間の交流が図られている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	建物の老朽化にとない、公民館のリニューアルまたは建替え等についてはやく実施が必要である。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5024	2	担当部課名	教育部 図書館
			担当課長名	榊野 佳孝

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	図書館管理運営事業
財務会計上の事業名	図書館管理事業/運営事業(サービスポイント設置事業別記)
事業の対象(誰(何)を)	すべての市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	図書個人(団体)貸出・返却、レファレンス、視聴覚サービス、障がい者サービス、行事活動、移動図書館
事業の目的(どのような結果を得るか)	すべての市民への情報拠点として、学習や読書機会の環境づくり
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度~平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	図書館法第10条/池田市立図書館条例及び池田市立図書館条例施行規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		52,153		49,870		66,382		
内訳	人件費(人・千円)	18.00人	84,900	21.00人	89,100	20.50人	86,750	21.50人	94,060	97.4%
	正職員	7.00人	58,800	7.00人	57,400	7.00人	56,000	5.60人	44,800	97.6%
	再任用職員	2.00人	7,200	3.00人	10,800	3.00人	10,800	4.50人	16,200	100.0%
	任期付短時間勤務職員	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	11.40人	33,060	-
	アルバイト	9.00人	18,900	11.00人	20,900	10.50人	19,950		0	95.5%
	支出合計 A		137,053		138,970		153,132		185,050	110.2%
財源	国・府支出金						18,478		7,200	-
	受益者負担 B									-
	その他財源		288		694		743		772	107.1%
	一般財源 C		136,765		138,276		133,911		177,078	96.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	蔵書冊数(全体)	冊	307,115	313,423	324,491		326,390
	成果指標 (2)	貸出密度(貸出冊数/人口)の上昇	冊	6.2	6.6	7.0		6.5
D	活動指標 (1)	貸出冊数	冊	454,279	470,168	495,010		520,000
	活動指標 (2)	貸出人数	人	114,248	118,795	124,655		130,000

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C÷活動指標D	円	301	294	271		92.2%
受益者負担率	受益者負担B÷支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	宅配サービスの開始等、来館困難者へのサービスに取り組んだ。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
平成22年8月から障がい者向け宅配サービスを開始した。AVパソコン室の機器類を増設するとともに、子供向け英語教育、医療情報、法律・ビジネス分野に特化した蔵書を充実させた。	蔵書の充実や好調のインターネット予約サービスの波及効果により、貸出冊数、予約件数ともに過去最高を記録した。また、宅配利用者には読書機会が増えたと好評である。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化 住民の生活圏の拡大に伴い、3市2町(池田市、豊中市、箕面市、能勢町、豊能町)の図書館(室)相互の広域利用の検討を開始した。	これらを踏まえた懸案事項、問題点等 図書館の規模及び利用者数等の格差に捕われずに3市2町間で協議し、相互利用の実現をめざす必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	700350
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5024	5	担当部課名	教育部 歴史民俗資料館
			担当課長名	田中 晋作

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	資料館管理運営事業
財務会計上の事業名	資料館運営事業
事業の対象(誰(何)を)	一般市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	池田の歴史・文化に関する資料の購入・寄贈・寄託
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田の歴史・文化に関する体系的なコレクションの整備
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,276		1,230		926		994	
内訳	人件費(人・千円)	1.10人	6,090	1.10人	5,870	1.10人	5,750	1.10人	5,800	98.0%
	正職員	0.60人	5,040	0.60人	4,920	0.60人	4,800	0.60人	4,800	97.6%
	再任用職員	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	非常勤職員	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	アルバイト	0.50人	1,050	0.50人	950	0.50人	950	0.50人	1,000	100.0%
	支出合計 A	7,366		7,100		6,676		6,794		94.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	7,366		7,100		6,676		6,794		94.0%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	資料の購入・寄贈・寄託	件	7	15	18	
成果指標 (2)		館蔵資料数	件	3,806	3,821	3,839		3,831
活動指標 (1)		入館者	人	19,592	22,600	21,672		22,000
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	376	314	308		98.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 当初目標とした資料の収集を行うことができた。
---	---	--------------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし	館蔵資料の充実
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
新たな展示資料に対する要望	資料収納施設の不足

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	700350
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5024	5	担当部課名	教育部 歴史民俗資料館
			担当課長名	田中 晋作

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	資料館管理運営事業
財務会計上の事業名	資料館管理事業
事業の対象(誰(何)を)	資料館の施設整備
事業の手段(どうする(させる)ことで)	資料館の施設補修及び整備
事業の目的(どのような結果を得るか)	資料館利用者の利便性の向上及び資料の保全
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,158		808		785		541	
内訳	人件費(人・千円)	0.50人	2,310	0.50人	2,210	0.50人	2,170	0.50人	2,200	98.2%
	正職員	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,600	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	非常勤職員	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	アルバイト	0.30人	630	0.30人	570	0.30人	570	0.30人	600	100.0%
	支出合計 A	3,468		3,018		2,955		2,741		97.9%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源			78		92		100		117.9%
	一般財源 C	3,468		2,940		2,863		2,641		97.4%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	資料の購入・寄贈・寄託	件	7	15	18	
成果指標 (2)		館蔵資料数	件	3,806	3,821	3,839		3,831
活動指標 (1)		入館者	人	19,592	22,600	21,672		22,000
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	177	130	132		101.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	当初目標とした資料の収集を行うことができた。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし	施設の充実を希望
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
近隣自治体に比べ、施設の機能が劣っている	施設の機能更新を図る必要性

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5024	99	担当部課名	教育部 図書館
			担当課長名	榎野 佳孝

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	サービスポイント設置事業
財務会計上の事業名	サービスポイント設置事業
事業の対象(誰(何)を)	すべての市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	予約本の受取りと本の返却ができる池田駅前サービスポイントを駅構内に設置(H21.6~)
事業の目的(どのような結果を得るか)	図書館(本館)が市の中心部から遠く、かつ坂の上にあることによる来館の困難を解消
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成21年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度~平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	図書館法第10条/池田市立図書館条例及び池田市立図書館条例施行規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)			1,210	1,332	1,332	110.1%		
人件費(人・千円)	0.00人	0	1.50人	2,850	1.50人	2,850	1.50人	6,740	100.0%	
内訳	正職員		0	0	0	0	0.40人	3,200	-	
	再任用職員		0	0	0	0	0.50人	1,800	-	
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0.60人	1,740	-	
	アルバイト		0	1.50人	2,850	1.50人	2,850	0	100.0%	
支出合計 A			0	4,060	4,182	8,072	103.0%			
財源	国・府支出金								-	
	受益者負担 B								-	
	その他財源								-	
	一般財源 C	0		4,060	4,182	8,072	103.0%			

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)							
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	貸出冊数		10,830	18,951	14,000		
	活動指標 (2)	貸出人数		7,020	12,656	9,000		

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円		375	221		58.9%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	利用は順調に増加している。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	1日当たりの利用人数が平成21年度は28人であったが、22年度は41人であり、31.7%増と好調な伸びを見せた。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 6535
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5021	1	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口 博昭

1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興
第3期実施計画の事業名	社会教育団体活動促進事業
財務会計上の事業名	社会教育団体活動促進事業
事業の対象(誰(何)を)	社会教育関係団体加盟者および市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市民等が主体となって活動する社会教育関係団体を支援する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民に音楽や伝統芸能にふれる機会が提供され、市民文化の向上が図られる。また、関係団体の自主活動の促進にも繋がる。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法 第10条 ~ 14条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		2,655	995	1,113	1,215	111.9%			
内訳	人件費(人・千円)	0.45人	3,780	0.45人	3,690	0.69人	5,544	0.63人	3,358	150.2%
	正職員	0.45人	3,780	0.45人	3,690	0.69人	5,544	0.35人	2,790	150.2%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.28人	568	-
	支出合計 A	6,435	4,685	6,657	4,573	142.1%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	6,435	4,685	6,657	4,573	142.1%				

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	団体の活動促進					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		交流事業の開催	件	7	10	6		
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	919,286	468,500	1,109,500		236.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	市民文化の向上、地域の活性化に寄与する 本事業は実施意義が高い。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
変更なし	団体の活動場所(練習場所含む)の不足。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
少子高齢化を踏まえた団体の存続・育成問題が顕著化している。	・成果発表会や演奏会の開催以外に、市民に還元できる福祉活動等の拡大 ・行政と団体のネットワーク化